



河芸地域から香良洲地域へ続く海岸堤防

修される予定なんだよ。

**でも、地震で堤防が壊れて津波が来たらどうしたらいいの？**

東日本大震災の後、ゴーちゃんと同じように多くの人から津波に対する不安の声がたくさんあったんだ。それで津市では、いち早く地域防災計画に津波対策編を作って、津波が発生したときは、急いで「より遠く」「より高い場所」へ避難することを決めただよ。

**それでも逃げ遅れてしまったときは、どうすればいいの？**

そういう時のために、津波避難ビルを指定することにしたんだよ。

**津波避難ビルって、どんなビルなの？**

24時間365日いつでも津波から避難できる建物で、市内には民間施設と公共施設を併せて36施設が指定されているんだ。この他にも、小・中学校の校舎の屋上にフェンスを設置して、津波から避難できる場所を増やしているところなんだよ。

**良かった。避難できる場所がどんどん増えてきてるんだね。**



津波避難ビルに指定した堀割ポンプ場(香良洲町)

それと7月16日号の広報津と一緒に沿岸地域の標高マップを配布したんだ。これは沿岸地域

の標高を分かりやすく色分けした地図だから、あらかじめ安全な場所を確認しておくといいね。

**そうだね。私が住んでいた河芸町の本城山は高いところだから安全だね。**

うん、そうだね。大きな津波から命を守るためには、まずは「逃げる」ことが最優先なんだ。だからいざという時に正しく避難ができるように、地域の人たちと一緒に避難ルートや危険箇所などを確認したり、地域独自の津波避難計画を作ったりして、いろんな支援もしているんだよ。

**日頃から準備をしておけば安心だね。でも、大きな津波が来ることを知ることはできるの？**

テレビやラジオ、防災行政無線で知ることができるんだけど、この他にもメールやファクスでもお知らせしているんだよ。



**そうなんだ。メールやファクスでお知らせが来るのはすごく便利だね。でも、日本語が分からない人にはどうやって知らせるの？**

そうだね。市内には多くの外国籍の人たちも生活しているからね。そういう人のために今年6月から県内で初めて多言語版のメール配信を始めたんだ。4種類の外国語とひらがなで書かれたやさしい日本語が選べるんだよ。

**日本語が分からない人にもメールでお知らせしてくれるんだね。いつでも情報が入るように**

**事前に登録をしておくで安心だね。**

それからもう一つ。介護が必要な高齢者などの皆さんが安心して避難できるように、福祉避難所として53カ所を指定しているんだ。

**それはとても心強いね。災害が起きたときも普段と同じような支援を受けることができると安心できるね。**

うん。そうだね。

**ほかにも進められているものはあるの？**

うん。市では、平成24年度と25年度の2年間を「災害対応力強化集中年間」として、防災を担当する職員を増やして、防災対策の強化に取り組んでいるんだよ。

**ふ〜ん。これからはどんなことをするの？**

地域防災計画を見直したり、津波避難計画を作ったり、その他にも大きな災害が起きた時に、避難所の指定や運営、災害用備蓄品のことなどを中心に、これからどう対応するのかを徹底的に見直ししていくんだ。

**いざという時のために、いろんなことが話し合われたり、決められたりしているんだね。良かった。**

市もいろんなことを考えているけど、「自分の命は自分で守る」「地域で助け合う」ことがとっても大切だから、ゴーちゃんもしっかり備えてね。

**うん。防災のことがよく分かって、とても安心したよ。シロモチくんありがとう！**

